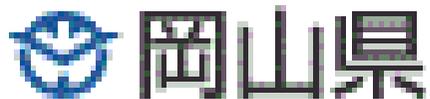


報告2 岡山県の現状と取組

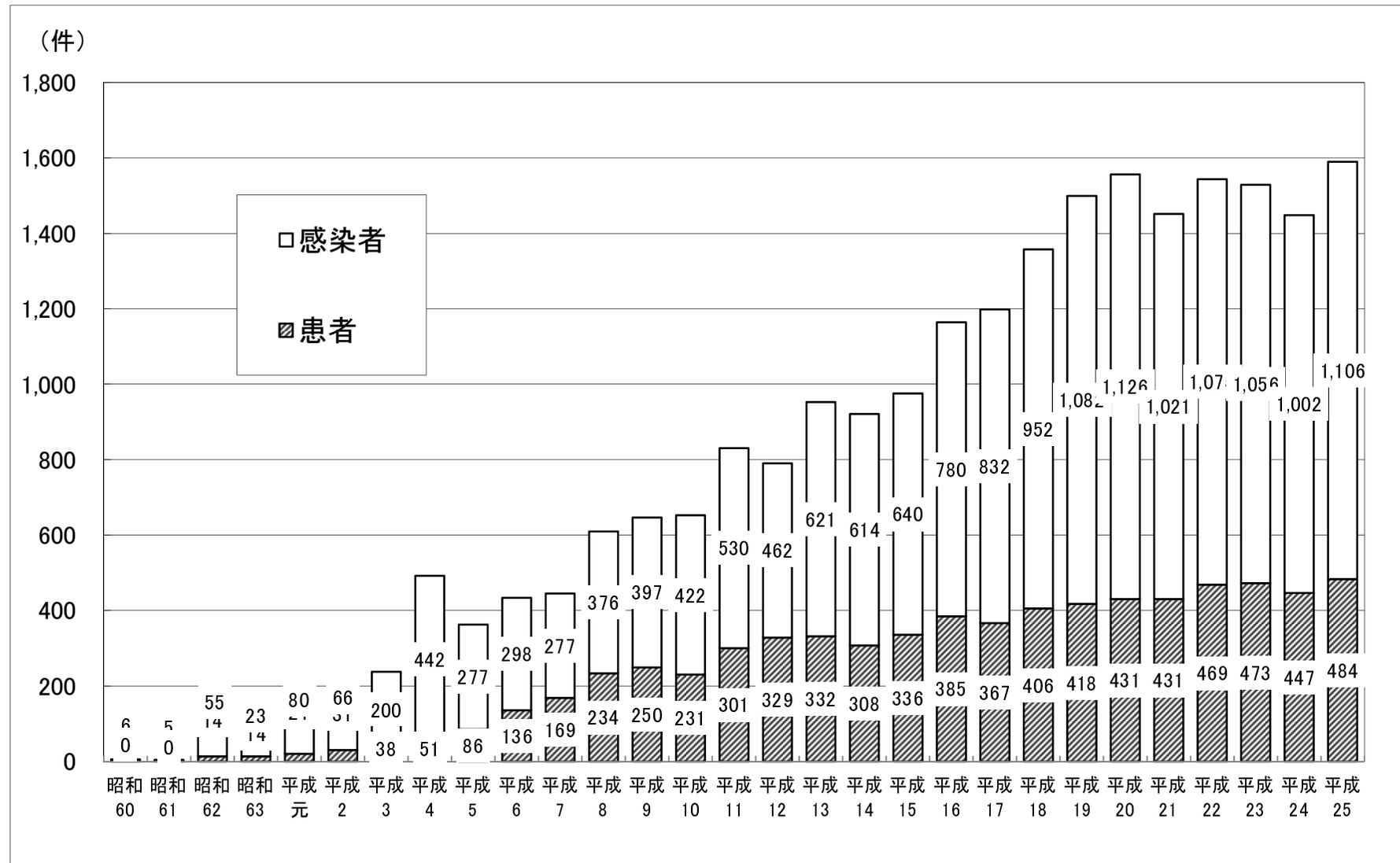
医療と行政の連携した取組



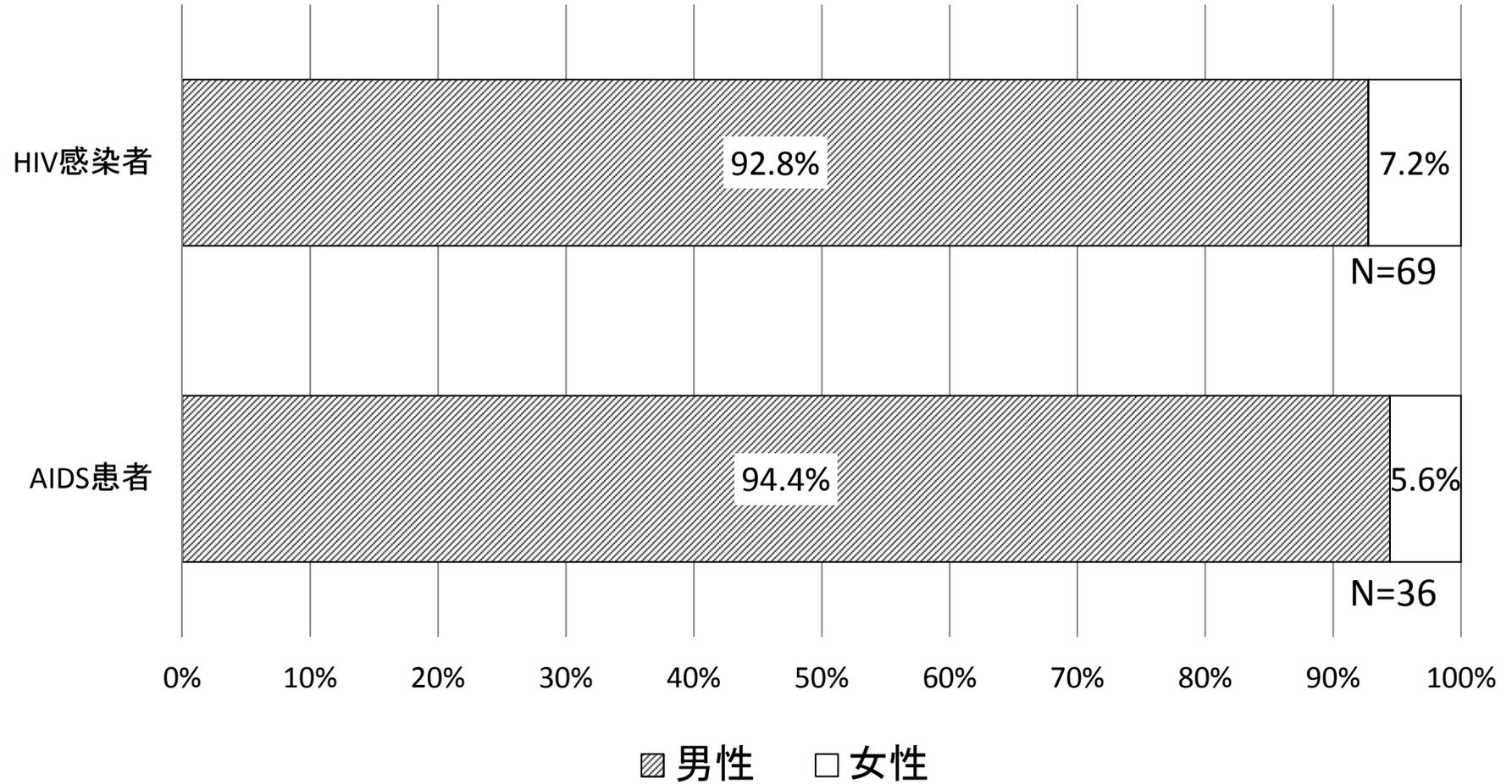
1. エイズの状況

- AIDS(後天性免疫不全症候群)発症前にウイルスが増えないよう服薬治療することで、通院でコントロールできる。
- 早期発見により、本人の重症化予防や他者への感染予防が可能。

全国の発生動向

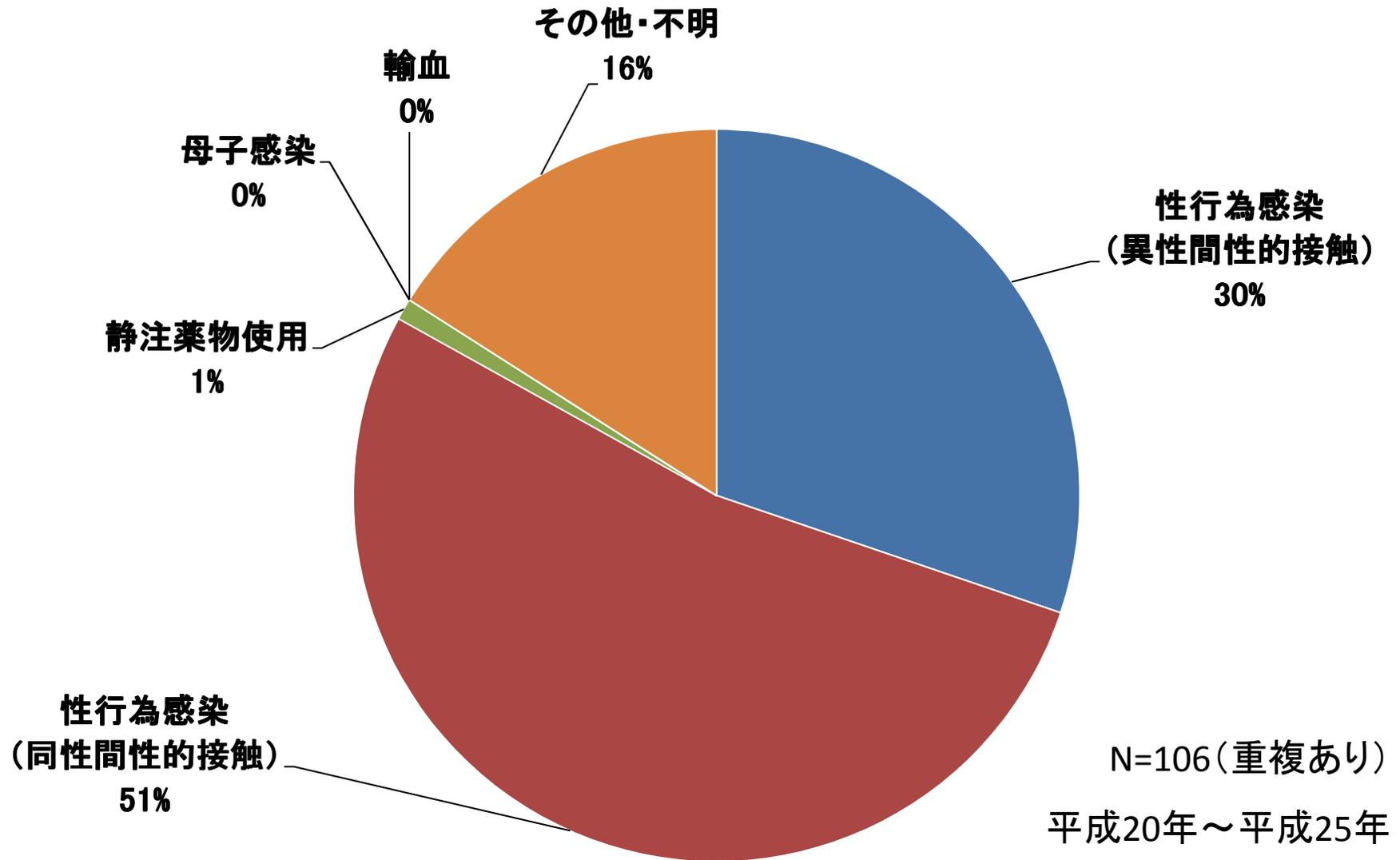


HIV感染者・AIDS患者の性別報告状況(岡山県)



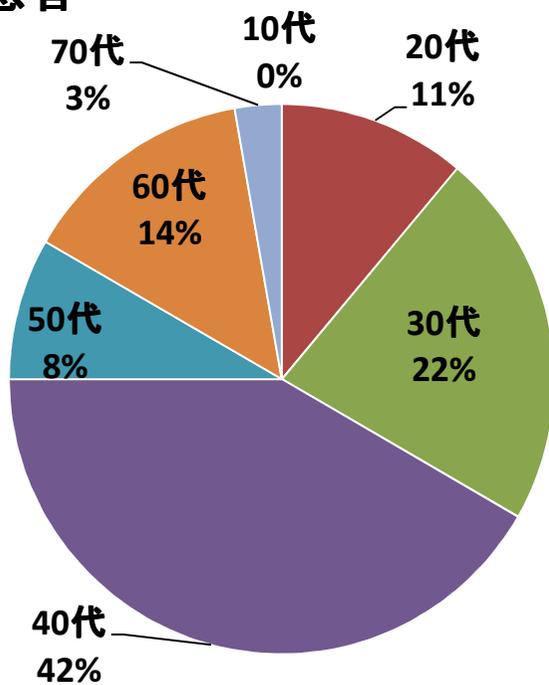
平成20年～平成25年

感染原因・感染経路(岡山県)



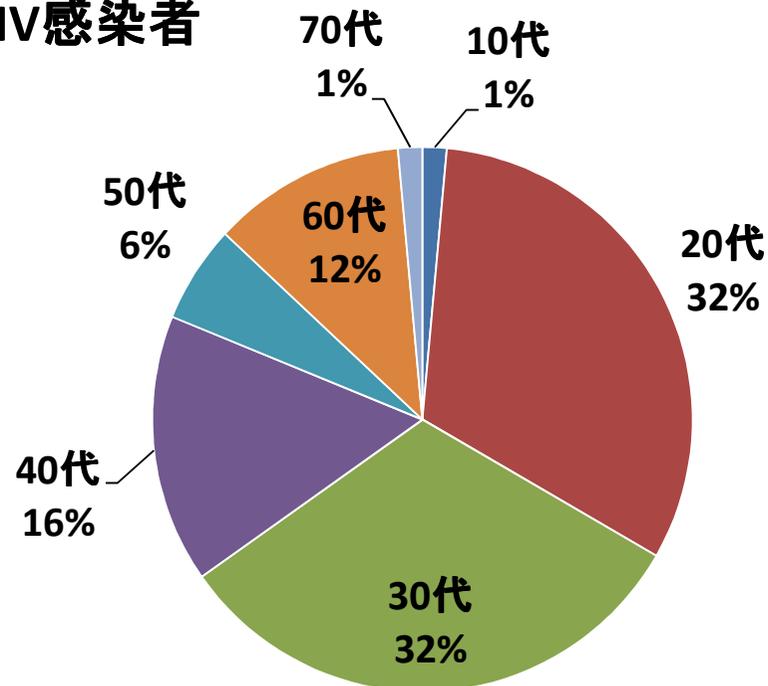
年齢(岡山県)

エイズ患者



N=36

HIV感染者



N=69

平成20年～平成25年

社会的な課題

- エイズの現状への認知度が低い。
- スティグマ(ネガティブなレッテル)が問題となる。
- 感染予防の行動(検査受検、コンドーム使用など)が十分でない。

エイズ感染予防 ← 発生動向や社会的課題への取組

おokayamaエイズ感染防止作戦で対応

おかやまエイズ感染防止作戦

1. 受けやすい検査

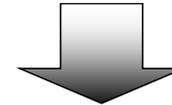
- 拠点病院検査環境の改善・充実
 - 経済的ハードルの低下
『安価』(一律千円)な検査
 - 利便性の向上
『即日』『いつでも』の検査
- 保健所検査実施
 - 備前・美作保健所で迅速検査実施

2. 関係者との連携強化

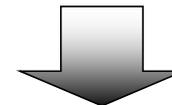
- エイズ医療等推進協議会の設置
 - 現場の実情を踏まえてエイズ医療等の対策の検討・推進を行う機関の設置
- 診療ネットワークとの連携・支援
- HIV感染者・エイズ患者の医療・介護環境整備

3. 戦略的な普及啓発

- 県民の方へエイズに関するメッセージの配信
- 普及啓発ツール作成
- 20～40歳代への啓発
- MSMへの啓発
- 性感染症患者の方、HIV感染者パートナーへの啓発
- 青少年への啓発
- マスコミへの積極的働きかけ



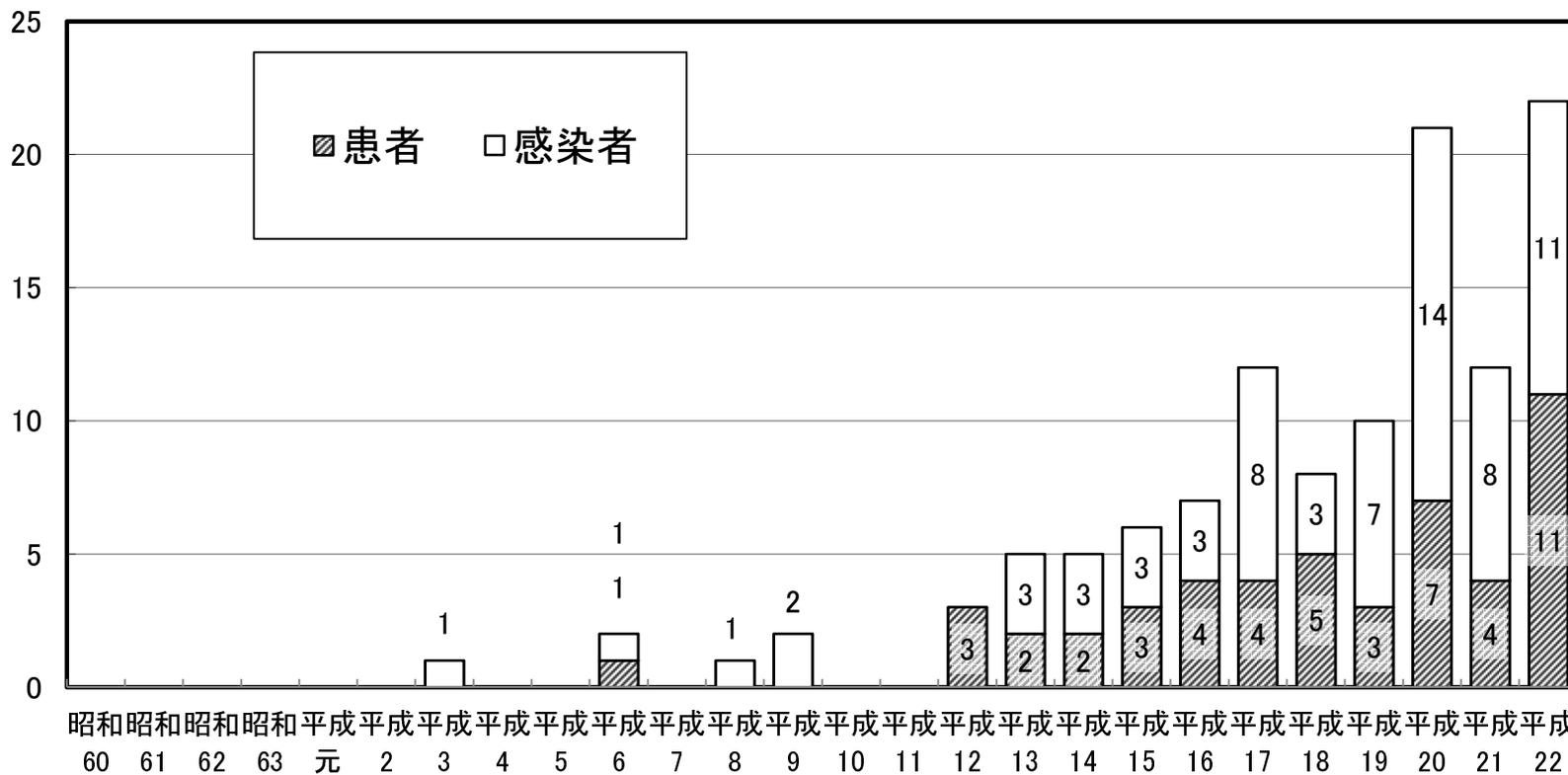
全県を挙げて感染防止に取り組む機運を醸成・関係者一丸 となって作戦を推進



エイズ感染防止と「いきなりエイズ」防止

岡山県の状況

(件)

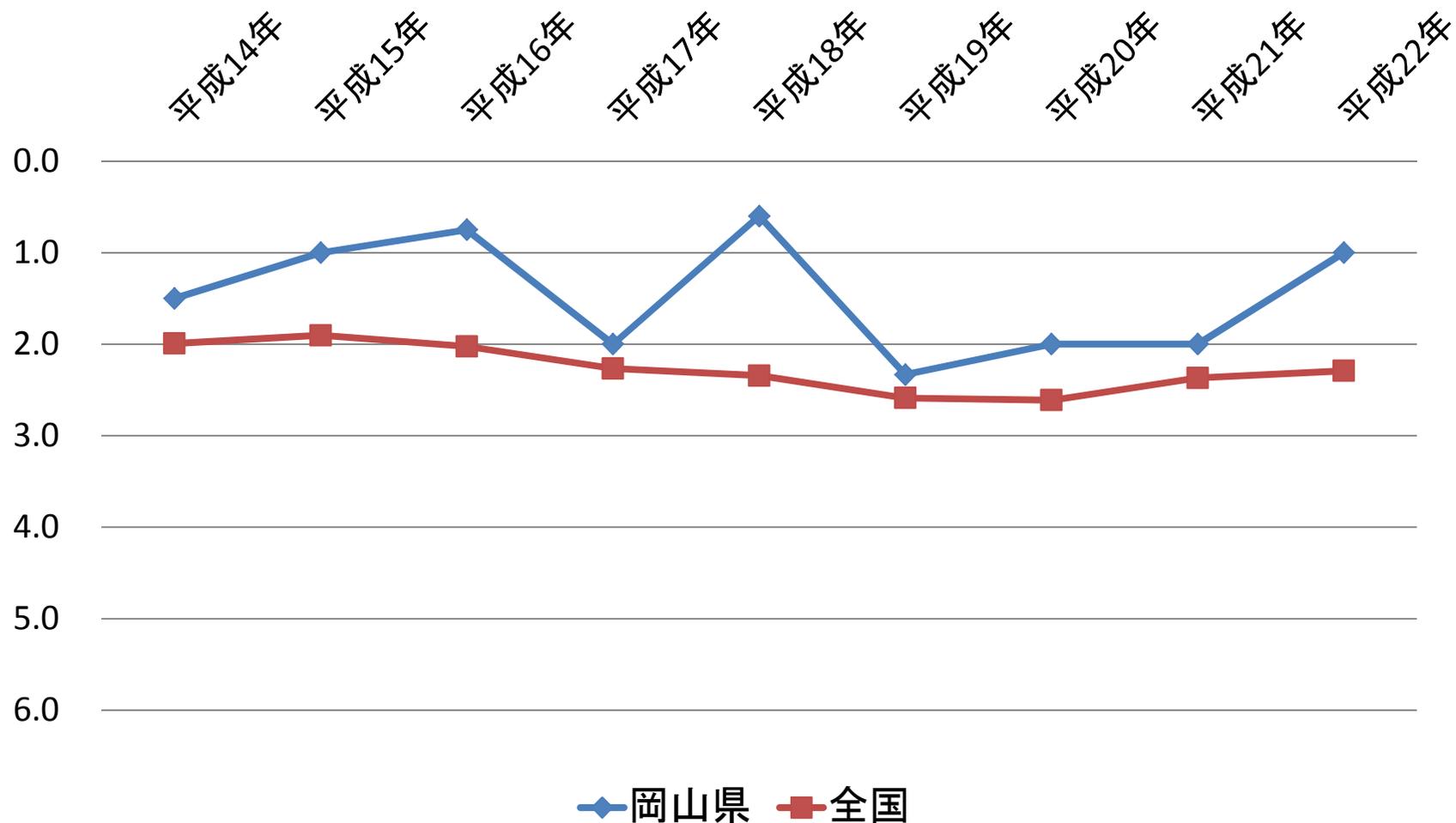


資料:エイズ発生動向調査



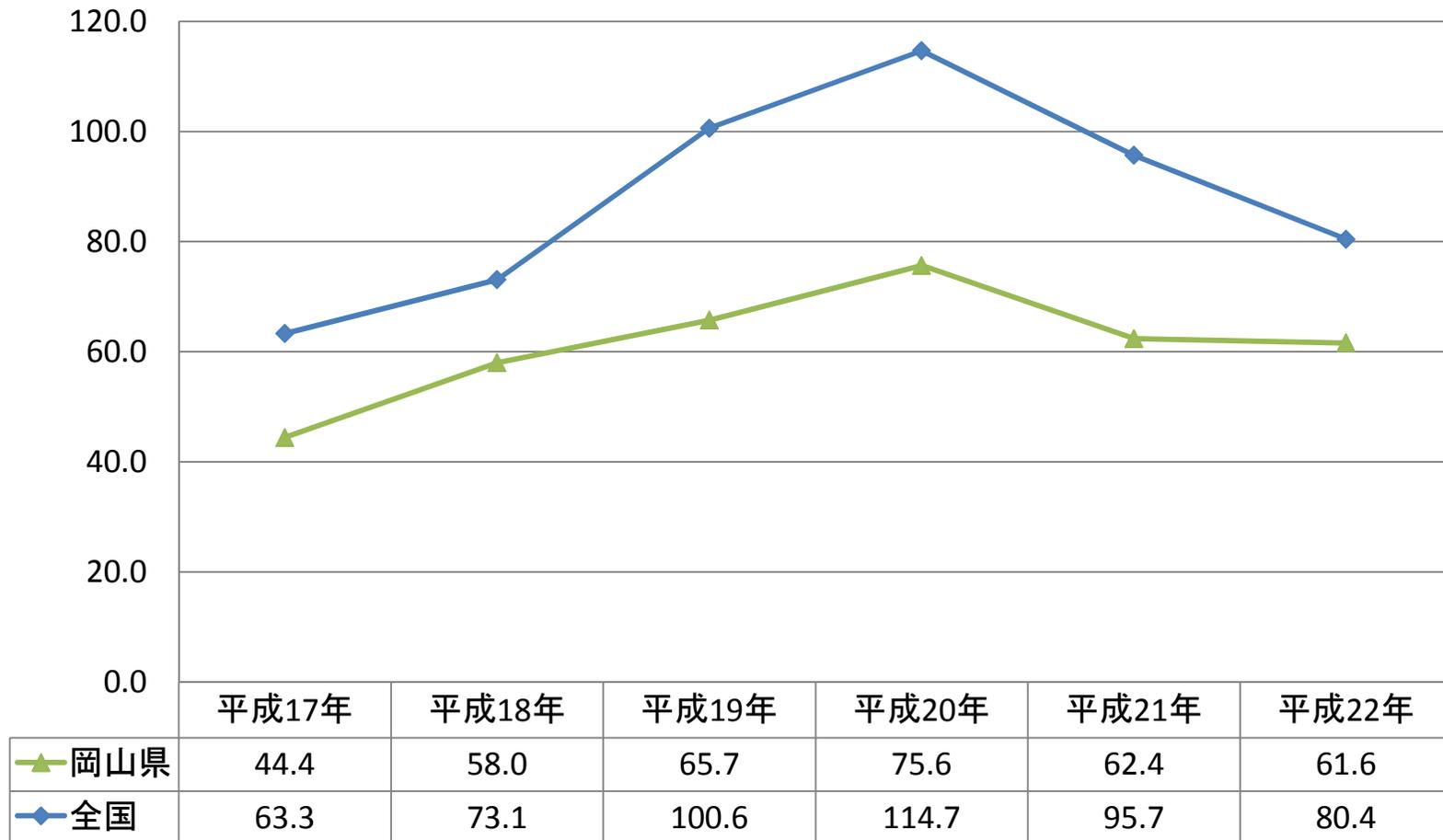
全国4位

HIV/AIDS比



HIV感染での発見 → HIV/AIDS比

保健所等でのHIV検査数(人口10万対)



岡山県:拠点病院(年度)分含む

おokayamaエイズ感染防止作戦

①受けやすい検査

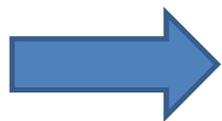
- ・全拠点病院での即日、一律1000円検査
- ・検査対応職員の対応力向上研修 等

②戦略的な普及啓発

- ・「分かりやすく、持ち帰りやすい」普及啓発カードの作成
- ・MSM関連団体と連携したゲイコミュニティへの普及啓発
- ・企業への普及啓発 等

③関係者の連携強化

- ・エイズ医療等推進協議会などでの情報共有・対策議論 等



エイズ感染防止と「いきなりエイズ」防止

受けよう！エイズ検査

検査受検勧奨カード
(H26年度版)

MSM専門家を招いての
エイズ対策研修会



岡山県エイズ医療等推進協議会

- 25年5月設置

おかやまエイズ感染防止作戦推進決議

- 目的

現場の実情を踏まえてエイズ医療等の対策の検討・推進を行う

- 構成

川崎医科大学附属病院(中核)

岡山大学病院

岡山医療センター

岡山済生会総合病院

倉敷中央病院

岡山労災病院

岡山赤十字病院

南岡山医療センター

川崎医科大学附属川崎病院

津山中央病院

臨床心理士会

医療ソーシャルワーカー協会

看護師代表、薬剤師代表

岡山市 倉敷市 県

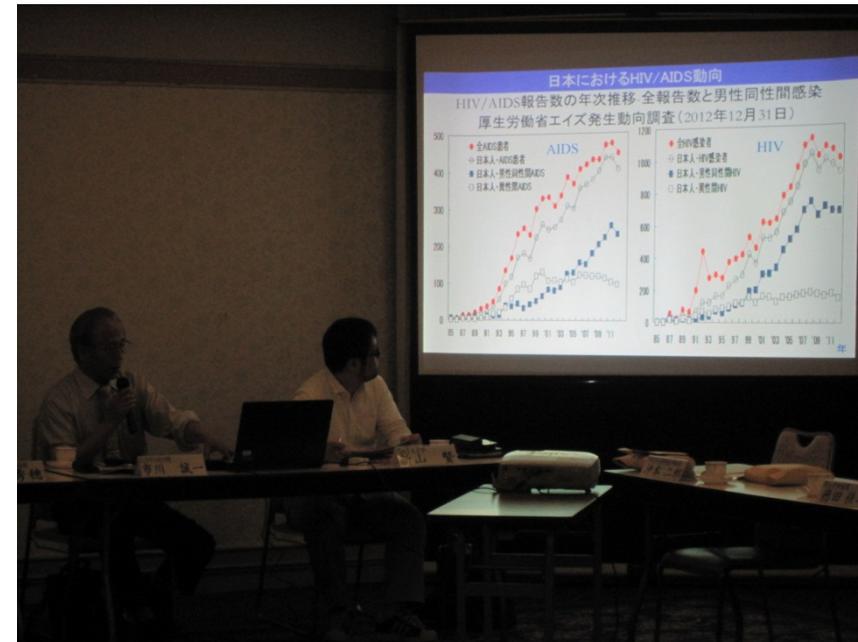
必要な場合、

協議会以外の関係者出席

平成26年度第1回エイズ医療等推進協議会 平成26年5月27日開催

主な議題

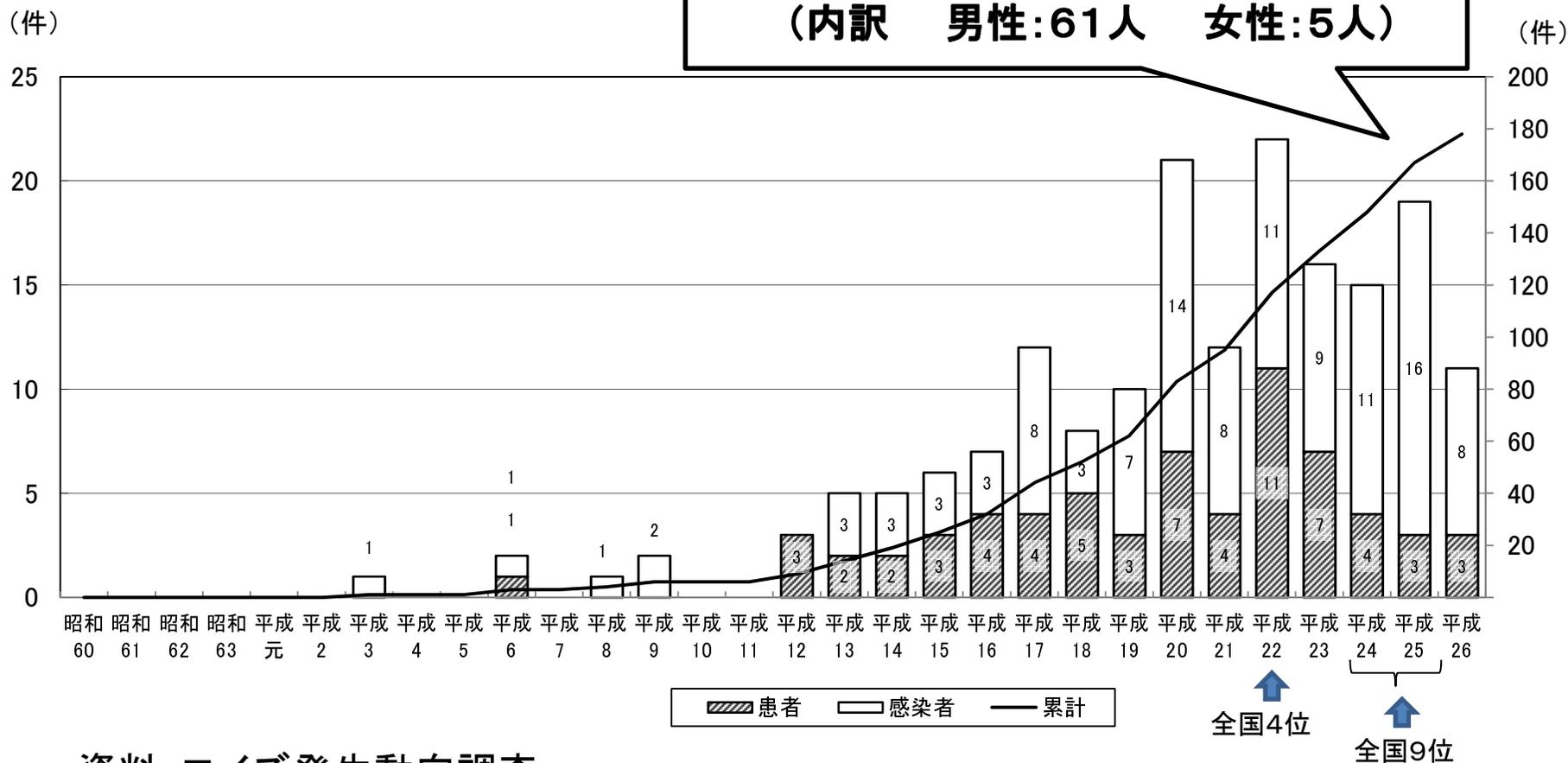
- ・岡山県におけるエイズの現状
- ・MSM対策の必要性・団体の活動状況
- ・おかやまエイズ感染防止作戦の進捗状況等



岡山県の状況

<累計>(平成26年7月末まで)
 HIV感染者 112人
 (内訳 男性:105人 女性:7人)

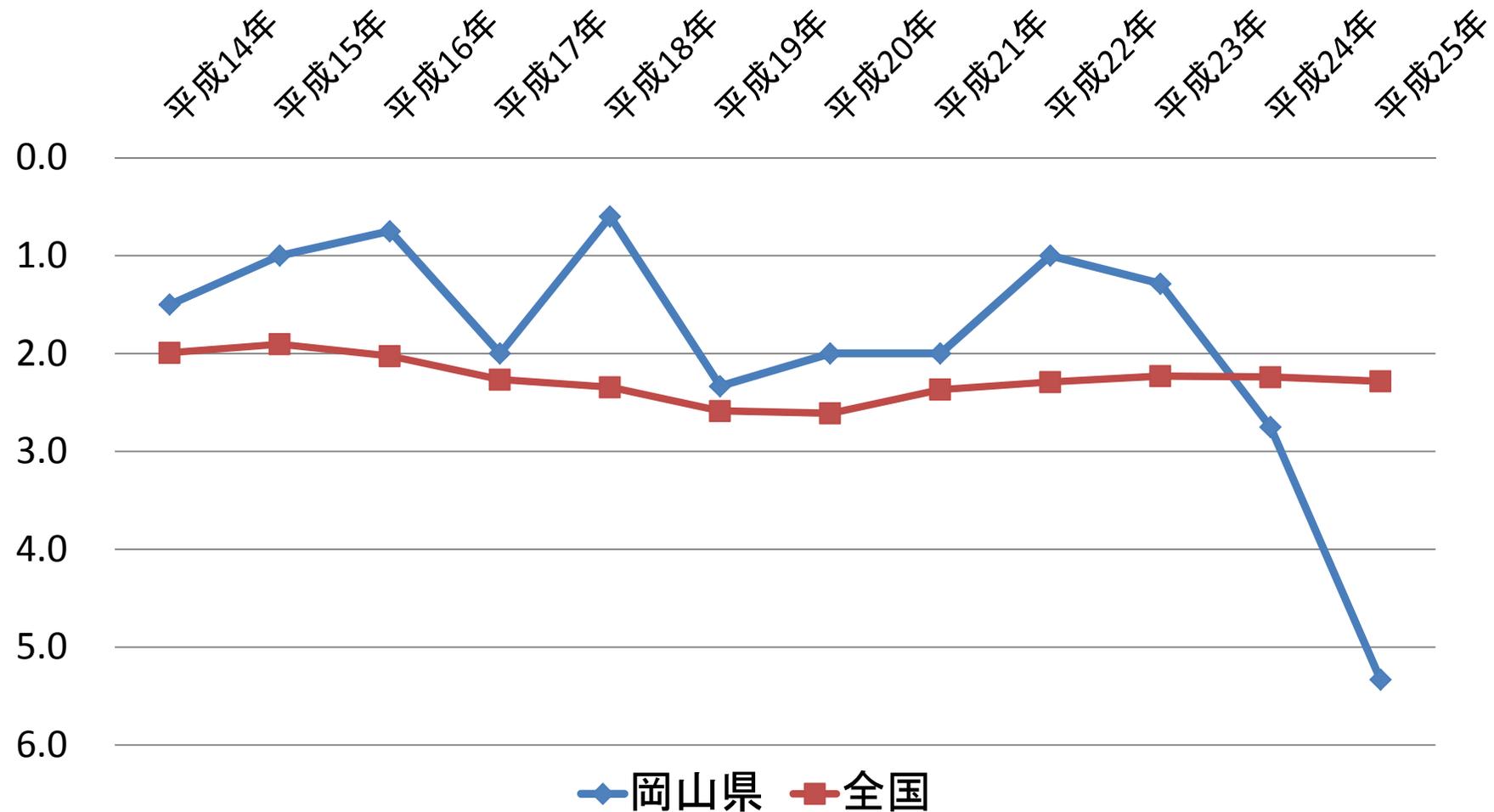
AIDS患者 66人
 (内訳 男性:61人 女性:5人)



資料:エイズ発生動向調査

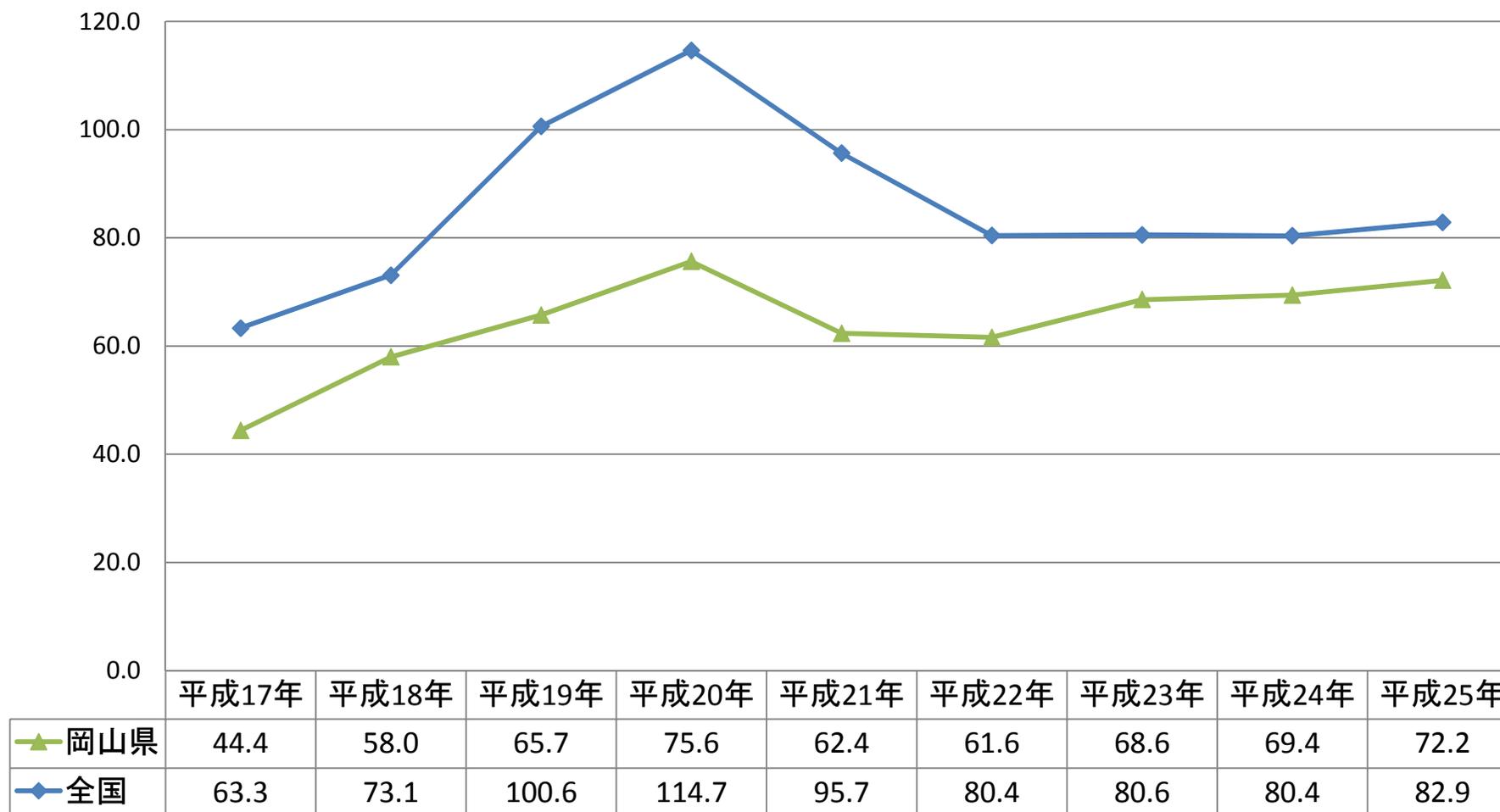
平成26年の報告数は、平成26年7月までに報告のあった発生動向調査より集計

HIV/AIDS比



HIV感染での発見 → HIV/AIDS比 ↓

保健所等でのHIV検査数(人口10万対)

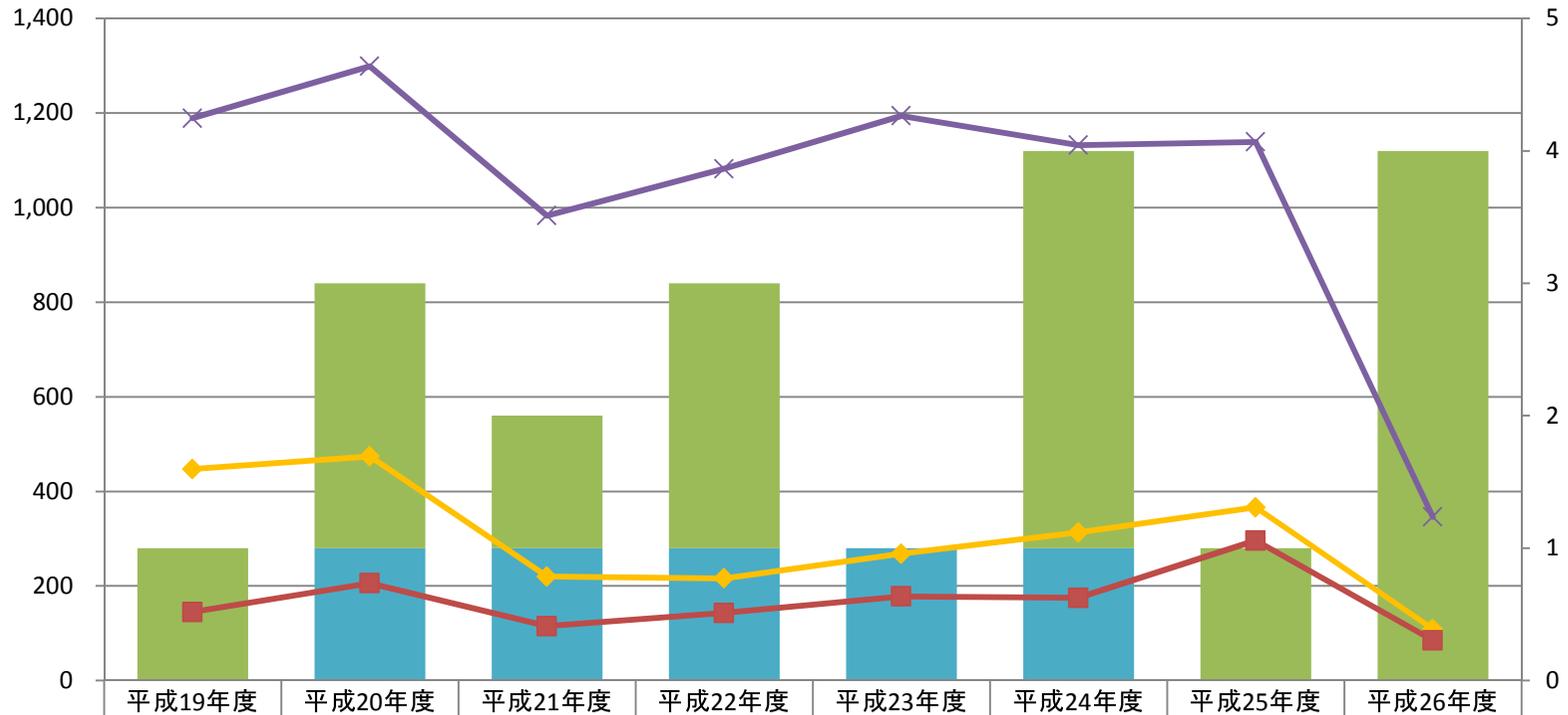


岡山県: 拠点病院(年度)分含む

検査件数と検査での陽性者数

検査件数(件)

検査陽性件数(件)



保健所検査陽性数	1	2	1	2	0	3	1	4
拠点病院陽性者数	0	1	1	1	1	1	0	0
保健所	1,189	1,299	983	1,082	1,194	1,132	1,139	346
保健所(県分のみ)	447	474	220	216	268	313	366	109
エイズ治療拠点病院	145	206	115	143	178	175	296	85

※平成26年度は、6月30日までの実績
検査陽性件数は、保健所及び拠点病院から報告のあった件数

中国・四国地方のMSM人口（推定）

ブロック ¹	県名	H22国勢調査 ^{*2}		楽天調査2011			推定した MSM人口 B×F	ブロック別	
		A;男性人口 All age(n)	B;男性人口 20-59(n)	D 20-59(n)	E MSM(n)	F;MSM割合 D/E(%)		MSM割合	推定 MSM人口
		中国・ 四国ブロック	鳥取県	280,701	138,688	160	5		
	島根県	342,991	162,748	199	4	2.0%	3,271		
	岡山県	933,168	458,894	558	27	4.8%	22,205		
	広島県	1,380,671	696,884	833	43	5.2%	35,974		
	山口県	684,176	327,336	399	12	3.0%	9,845	3.9%	106,244
	徳島県	372,710	181,709	199	7	3.5%	6,392		
	香川県	479,951	230,544	317	10	3.2%	7,273		
	愛媛県	673,326	327,428	436	18	4.1%	13,518		
	高知県	359,134	169,982	198	4	2.0%	3,434		
全国		62,327,737	32,654,505	39,766	1,844	4.6%	1,502,107		

出典：H24年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究」（代表市川誠一）

岡山県内のMSMにおける推定感染者数

$$\begin{array}{rcccl} \text{岡山県内の推定MSM人口} & & \text{感染率推定} & & \\ 22,205\text{人} & \times & 3\% & = & 666\text{人} \end{array}$$

潜在化しているMSM感染者
(推定) 約500人

拠点病院患者数

(人)

120

100

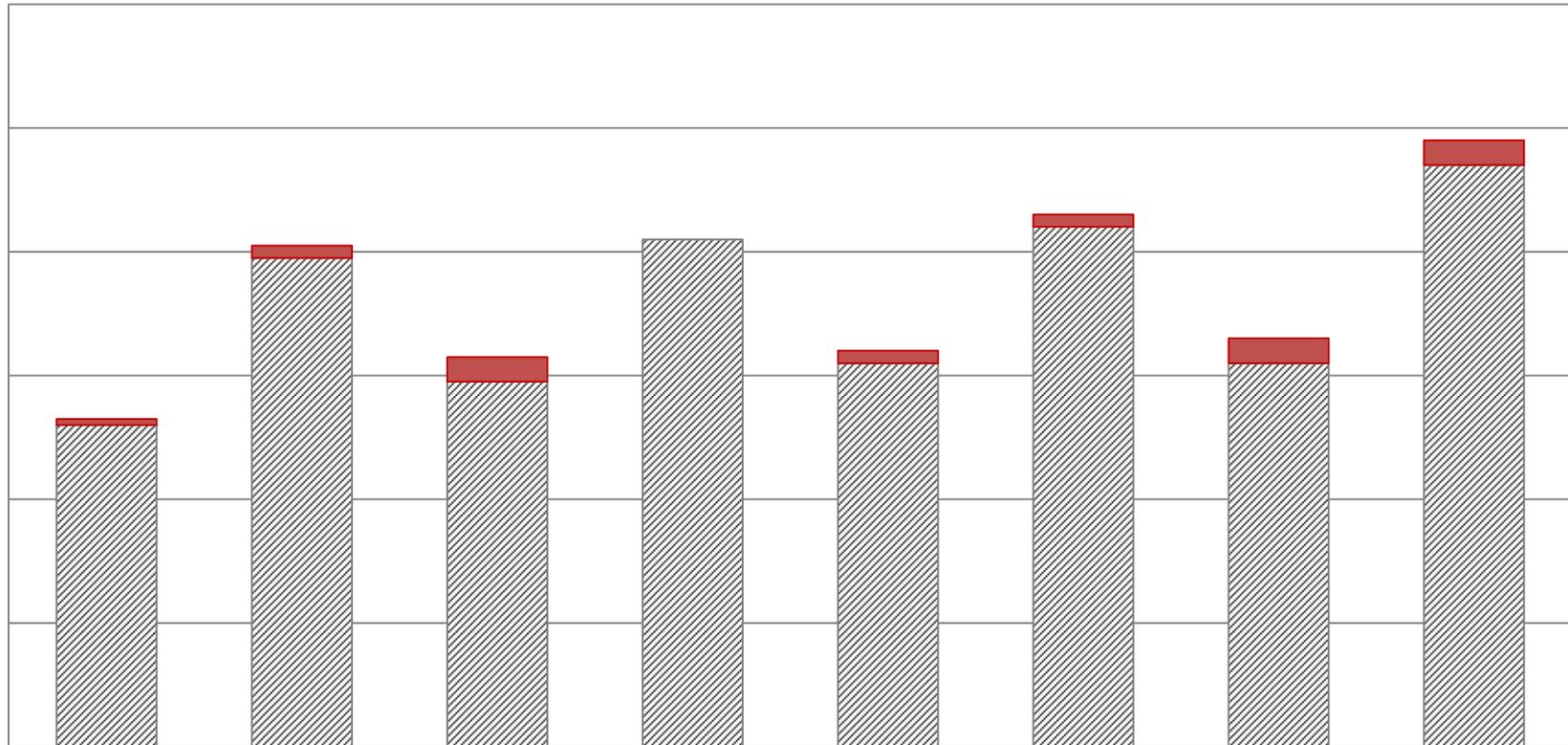
80

60

40

20

0



	AIDS	HIV	AIDS	HIV	AIDS	HIV	AIDS	HIV
	平成23年9月調査		平成24年9月調査		平成25年10月末現在		平成26年4月末現在	
■ 入院	1	2	4	0	2	2	4	4
▨ 通院	52	79	59	82	62	84	62	94

今後の課題

- ① 県民のエイズ感染の予防行動につながる対策などの検証と効果的な推進
- ② 陽性者支援
- ③ 地域対策
 - ・ 地域での診療体制等の検討
 - ・ 高齢化による医療や介護の環境整備